

依存症概論 1

依存症とは

- 特定の何かに心を奪われ「やめたくても、やめられない」状態になること
(厚生労働省ホームページ)
- ある特定の物質（アルコールや薬物）や行動（ギャンブル等）へのコントロールが効かなくなる病気のこと
(依存症対策全国センターホームページ)



依存症は、意思が弱い・だらしないなど、性格の問題ではありません。

医学的※に認められている依存症



※ ICD-11において「物質使用及び嗜好行動による障害」に位置付けられているもの

いずれの依存症にも共通すること

- 誰でも発症する可能性がある身近な病気である
 - 自身や家族(周囲の人)に悪影響をもたらす
例 健康問題、社会問題、対人関係問題、家庭問題、借金問題 など
 - 別名「否認の病」自身を正当化しようとする
 - 病気ではあるが、適切な対処によって回復することができる
- 家族（周囲の人）は困っているが、本人は自分が病気であることを認めないため、適切な支援導入・支援継続できないことが少なくありません。
- 本来の自分を取り戻し、特定の依存対象に頼らない健康的な生き方をしていくことができます。